

# 工業部会通信

(発行) かながわ経済新聞合同会社  
 〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3  
 商工会館本館1階  
 ※プリントしてご自由にお読みください。

かながわ経済新聞  
 KANAKAI

アリオ橋本で4日から

「地元発」の技術も披露

京王電鉄とアリオ橋本（セブン&アイ・クリエイトリンク）などは、12月4、5の両日、緑区大山町のアリオ橋本の1階グランドガーデンで「ロボット大集合 in アリオ橋本」を開催する。最先端のロボットをテーマにしたイベントを通じ、相模原の魅力の一つである「ロボット産業」を広く知ってもらい、シビックプライドにつなげるのが狙い。計16のロボット関連企業・団体が参加。自慢のロボット技術を披露する。

## 京王電鉄など共催

相模原商工会議所、多摩大学も共催。神奈川県、さがみはら産業創造センター、さがみはらロボットビジネス協議会、橋本商店街協同組合、横浜銀行が後援する。4日には、ロボットを操作したり、ゲームで対決したりできる「ロボット触れ合いイベント」のほか、親子で一緒にプログラミングしたロボットで、レースで競い合う「ロボットクリエイター教室（プログラミング教室）」などが予定されている。また、4、5日には「ロボット先生による算数教室」を企画。ロボットから出題される算数を解きながら、楽しく学んでいる子どもたちがロボット

# ロボット企業が集結

**ロボット大集合!**  
**in アリオ橋本**  
 12/4(土)・5(日)  
 1階グランドガーデン  
 PM12:00~PM4:00

リニアより先に  
 ロボットが来るよ!

- 4 プログラミング教室
- ロボット先生による算数教室
- 5 ロボット触れ合いイベント
- ロボット先生による算数教室

同イベントの開催チラシ

## 副部会長コラム 「工業よもやま話」

今月は製造業における「中小企業の経営者の守備範囲」についてお話しします。製造業の主業務である受注製造でない部分に触れてみます。まず雇用の関係では、職業安定所や労働基準監督署、安全管理、年金事務所、健康保険組合、各学校への社員募集、派遣会社との付き合いがあります。一方、設備関係では消防署をはじめ、国や自治体の環境部、上下水道、汚水処理、電気保安関係、総務全般では県や市役所、商工会議所、警察署、銀行。補助金関係は国や自治体の出先機関との付き合いがあります。これら関係機関とのやりとりの大半を、中小企業の経営者は一人でやっています。確かに、外部の専門家

## 中小経営者の守備範囲とは

と触れあい、ロボットの仕組みを学ぶ機会をつくることで、知的教育、好奇心の幅を広げるきっかけにもつながってほしいという。一方、ロボットの実際では16社・団体のうち、相模原市内企業が7社参加する。キャロットシステムなどの「ドライ掃除ロボット」、さがみはら産業創造センターによる「NEXTAGE」が披露される。MEMOTEKノスはロボットプログラミング教室を開催する。

### 超音波発生し 微細バリ除去 ブルー・スター

超音波バリ取り洗浄装置製造、ブルー・スターR&D（中央区横山台）は、マイクロメートル単位の超微細な穴に付着したバリを、穴数が数百から数千個あっても一度に除去できる技術を開発。専用装置を発売した。電気製品に組み込まれる中央演算処理装置（CPU）をマザーボード（基板）に取り付けるためのソケット（CPUソケット）などへの使用を想定する。CPUソケットはICチップの接続端子の一つで、毎年膨大な数が生産されている。1個のソケットには無数の穴が空いているが、製造過程でバリが付着するために、その除去方法が課題とされてきた。業界では手作業を含め、あらゆる解決策を模索していたが、有効な手段が見つからなかったという。そこで同社の超音波バリ取り洗浄技術が着目され、開発を進めていた。同装置では、純水が入った水槽にソケットを投入。超音波を当てて直径6〜10ミリのキャビティ（微小真空核群）を発生させる。キャビティが穴にぶつかった衝撃力でバリを完全に除去する仕組み。一度に大量のソケットを処理できるので、生産性が大幅に向上するという。価格は1480万円。



さあ、5年後の未来を見に行こう。

## 新規会員募集中 近未来技術研究会

相模原商工会議所工業部会